

十一月十二日第二十四回總委員會
議事進行
議案ニ關スル
議長提案

議事進行
議案ニ關スル
支那側ノ
異議

第二章 領土上及行政上ノ保全ニ關スル問題

第一節 序 說

(一) 一般原則ノ適用問題討議開始

極東問題ノ討議ニ當リテハ議題ニ關スル米國試案ノ順序ニ從ヒ先ツ支那問題一般討議ヨリ開始シ次イテ右試案ノ項目ヲ逐ヒテ各個問題ニ關スル適用ヲ議シ其ノ間支那提案ヲモ併セテ考量スヘキコトト決定セルハ前述セル所ノ如シ

而シテ支那ニ關スル一般原則ヲ宣明セル「ルート」決議案可決セラレタルヲ以テ十一月二十二日第四回總委員會ニ於テ議長「ヒューズ」氏ハ前日ノ總委員會ノ可決セル右「ルート」決議案ヲ報告シタル上議事進行ニ關シ次ノ如ク宣スル所アリタリ

「ルート」決議第一項ハ支那側提案第一項(イ)ニ全然合致シ且ツ右決議第一項中ノ respect ナル語ハ支那側提案ニ所謂 respect and observe ノ意味ヲ含ムモノナルコトハ前日各國全權ノ了解ヲ得タル所ナリ又支那側提案第一項(ロ)モ畢竟「ルート」決議第一項ニ包含セララルヘキヲ以テ特ニ論議ノ要ナシ而シテ支那提案中政治、領土又ハ行政上ノ問題ニシテ米國議題試案ニ照應シテ次ニ論議スヘキモノハ其ノ第五項政治司法等ノ自由ニ對スル現在ノ制限ニ關スル問題ナリ本問題ニ付テハ先以テ具體的案件ニ付適當ナル提案ヲ求メ之ヲ基礎トシテ討議ヲ進捗スルコトト致シ度シ案件ニ依リテハ分科委員會ヲ組織スルノ必要モ有之ルヘク慎重審議ノ結果完全ナル合意ニ到達スル事項不得已討議ヲ延期スル事項全然討議ヲ爲ササル事項等ノ類別ヲ生スルニ至ルヘシ兎ニ角支那側ノ具體的提案ハ議事進捗ノ上ヨリ最望マシキ所ナリ」

之ニ對シ支那全權施肇基氏ハ

『元來支那提案ハ米國試案ニ照應シテ起草セラレタルモノナルカ故ニ討議ノ順序ハ右支那案ニ依リ先ツ一般原則ヲ宣明シタル上其ノ適用問題ニ移ルヲ可トス第五項政治司法行政ニ對スル現在ノ制限ニ關スル具體的説明書ヲ提出スルコトニ

付テモ先以テ一般原則ニ對スル同意ヲ經然ル後細目ニ及フコト順序ナルヘク旁々支那側ノ提案全般ニ對スル一般討議ヲ求メタク議事進行上ヨリ云フモ先シテ個々ノ問題ニ立入ラサル方可ナリト思考ス」

支那側議
步

ト提言シ此ノ點ニ關シ施「ヒューズ」兩氏ノ間ニ一ニ二ノ問答アリ施氏ハ支那提案各項カ何レモ相懸連スル問題ナルコトヲ指摘シ重ネテ前説ヲ主張シ支那提案ヲ基礎トシテ討議ヲ進行セシムルノ希望ヲ洩シタルカ「バルフォア」氏ハ「ヒューズ」氏ノ主張ニ贊同シテ『討議ノ複雑多岐ニ互ルヲ避クルカ爲ニハ一般原則ノ問題ハ昨二十一日總委員會ニ於ケル決議ヲ以テ満足シ速カニ當面ノ問題タル所謂原則ノ適用ニ關スル個々ノ具體的問題ノ討議ニ移ルコト然ルヘシ』ト述ヘタルニ顧維鈞氏ハ『曩ニ各國全權ノ陳述ニ對シ一應同感ノ意ヲ表シタルハ一般原則ノ確立ヲ期セムトスルニ在ルモ昨二十一日ノ決議案ハ右掲記ノ四項以外新規ナル原則ノ問題ヲ提出スルヲ妨クルモノニ非ス又支那提案(九)及(十)ハ該決議案ニ包含セラレサルモノト諒解シ進シテ具體的問題ニ移ルコトニ異存ナシ』ト言明セリ

適用問題
討議問題

茲ニ於テ「ヒューズ」氏ハ「支那全權ノ見解ハ吾人ノ了解ト相去ルコト遠カラス」トテ支那側提案各項ト米國試案及「ルート」決議案トノ一致點ニ就キ説明ヲ加ヘ

『支那ノ領土の及行政の保全ニ關スル支那提案第一項(イ)及(ロ)第三項、第五項、第八項ニ付本委員會ハ既ニ一般原則ヲ協定セリ米國議題試案(C)及(D)ハ支那案第二、第六、第七ノ各項ニ該當シ(G)ハ同シク第四項ニ相應ス唯支那提案第九及第十ノ二項ハ必スシモ支那問題ニノミ特有ノ問題ニアラス從ツテ右二項ハ追テ討議ニ委ヌルモ遲カラサルヘシ就テハ以上ノ諒解ヲ以テ議事ノ進行ヲ計ルヘシ』

ト提言シ滿場之ニ同意ヲ表スルヤ米國議題試案ノ順序ニ依リ先ツ支那ノ領土の及行政の保全ノ問題ヨリ著手スルコトニ決定セリ

(二) 支那提案第五項問題開議

「アンダ
ード」氏
起問題提

次イテ「ブリアン」氏ノ提言ニ基キ支那側提案第一項(イ)(ロ)ニ就キ各國全權ノ贊否ヲ問ヒタルニ何レモ異議ナク進シテ支那側提案第五項ノ議ニ移ルヤ「アンダーウッド」氏發言ヲ求メ

「アンダ
ード」氏
起問題提

『本委員會ハ既ニ支那ノ主權及領土保全ノ原則ヲ採用セリ吾人ハ毫モ支那ノ内政ニ干渉スルノ意圖ナシト雖鞏固ナル政府ヲ確立スルコト緊要ナルト同時ニ苟モ獨立國タル以上其ノ外部ニ對スル義務ノ履行モ亦忠實ナラサルヘカラス而シテ鞏固ナル政府ノ確立及對外債務ノ遵行ニ當リ最モ緊切ナルハ其ノ財政ノ堅實ヲ期スルニ如クハナシ吾人ハ切實支那全權ノ同意ヲ經テ支那租稅殊ニ關稅問題ニ關シ場合ニ依リテハ分科會ヲ設ケテ之ヲ調査審議スルコトトシタシ』トノ

關稅分科
會設置決
定

旨ヲ提議セリ之ニ對シ「バルフォア」氏ハ關稅問題ニ關スル「マツケー」條約ノ規定ヲ引用シテ「アンダーウッド」氏ノ提議ニ贊同ノ意ヲ表シ進シテ同問題ハ債權擔保ノ關係ヲモ有スルヲ以テ若シ分科會ヲ組織スルニ於テハ其ノ權限ハ成ル可ク之ヲ局限セサル方然ルヘシト提言シ次イテ分科會ノ組織ニ關シ或ハ單ニ專門家ノ會合ニ止ムヘシトシ或ハ關稅問題ト其ノ他ノ問題トノ二種ニ分チ二個ノ委員會ヲ組織スヘシトシ各種ノ意見出テシニ支那側ニテハ本問題ハ專門的の方面及政治的の方面ト錯綜シ居ルコトヲ指摘シ又支那財政問題全般ニ互リテ考察ヲ加フル時ハ事廣汎ニ失シ收拾シ難キニ至ル虞アルヲ以テ問題ヲ局限スルコト至當ナルヘシトノ意見ヲ述ヘ從テ收入上他關係國ノ援助ニ依リ增收ヲ期待シ得キモノニ付テノミ審議セシコトヲ希望シタルカ結局「ロツヂ」氏ノ意見ヲ容レ全權ヲ以テ委員會ヲ作り別ニ專門家ヲ列席セシメ右委員會ノ權限ハ之ヲ限定セサルコトニ決定セリ加藤全權ハ全權出席不可能ノ場合ニハ代理ヲ出席セシムルコトアルヘキ旨ヲ附言シテ本件委員會ノ設置ニ贊意ヲ表シタリ

(三) 支那案第五項ニ關スル具體問題ノ討議

「サロ
ー」氏
項ニ關ス
ル具體案
要求

前記關稅委員會組織ニ關スル討議中佛國全權「サロ」氏ハ支那側提案第五項ニ言及シ「斯ノ如キ廣汎ナル問題ハ容易ニ之ヲ受諾スルコトヲ得ス先ツ以テ明確ナル具體案ニ付キ篤ト考究スルヲ要ス例ヘハ領事裁判權撤廢問題ノ如キ相當安全ナル

保障ヲ有スルニ於テハ關係列國一律之ヲ裁撤スルニ躊躇セサル所ナルヘク要スルニ吾人ハ先ヅ以テ支那ノ要望ノ何タルヤヲ知悉セサルヘカラス』ト力説シ顧維鈞氏ハ『支那ハ速ニ其ノ政治上ノ制限ヲ排除シ過去將來ノ間ニ明確ナル一線ヲ劃セシコトヲ希望スルモノニシテ試ニ之ヲ具體的ニ舉示セハ政治上ノ制限ハ之ヲ(一)條約其ノ他取極ニ基ク制限即チ治外法權關稅制度ノ類ト(二)條約其ノ他取極等何根據ヲ有セサルモノ即チ外國郵便局、無線電信局、軍隊等ニ類別スルコトヲ得ヘシ』ト指摘シ和蘭全權等ハ出來得ヘクハ各國全權ニ於テ篤ト考究ヲ加フルノ餘地ヲ與ヘシカ爲直ニ支那側ノ具體的説明書ヲ受領シタキ旨提言シタルニ支那全權ハ次回會議ノ際ニ之ヲ提出スヘキコトヲ約シ結局協議ノ末十一月二十三日午後更ニ總委員會ヲ開催スルコトナレリ

第五項ニ
關聯スル
支那側諸
提案

右第四回總委員會ニ於ケル決定ニ從ヒ翌十一月二十三日第五回極東總委員會ニ於テ支那側ハ先ヅ支那關稅自主權問題ヲ次イテ二十五日第六回總委員會ニ於テハ治外法權撤廢問題ヲ提起シ更ニ其ノ後引續キ(一)支那ニ於ケル各國郵便局問題(二)支那ニ於ケル有線及無線電信設置問題(三)支那ニ於ケル外國殖民軍問題(四)支那ニ於ケル外國鐵道守備隊問題及(五)支那ニ於ケル外國警察官駐在問題等ヲ提議セリ以上第五項ニ關スル問題ハ米國試案領土上及行政上ノ保全ニ關スル問題中最モ重要ナルモノナルノミナラス支那側モ其ノ提案中最モ重キヲ置キタル所ニシテ且ツ利害關係國亦他問題ニ比シ其ノ數多カリシヲ以テ今次會議中極東諸問題ニ就キ最モ重要ナル論議ヲ見タリ以下節ヲ分チテ右第五項問題ヲ主トシ領土上及行政上ノ保全ノ項目ノ下ニ提起セラレタル諸問題ニ關スル討議ノ經過ヲ敘スヘシ

(四) 支那國權制限撤去問題ニ對スル帝國ノ態度

十二月八
日訓令

其ノ後極東委員會ノ議事經過ニ徴スルニ支那側ニ於テハ前記ノ如ク外國郵便局ノ撤去外國軍隊及警察官ノ撤退領事裁判權ノ撤廢等ヲ提唱シ更ニ租借地ハ勿論或ハ勢力範圍撤廢問題ニモ及ハントスル形勢ヲ示シタル處帝國政府ニ於テハ支那國民カ此等一種ノ後見ヲ付セラレタルカ如キ威アル國權制限ノ施設撤廢ヲ提唱スルニ對シテハ相當條件ノ下ニ好意的考慮ヲ加

帝國ノ支
那開放要
求

フルヲ辭セサル方針ナリシト雖モ元來斯ル國權制限ノ撤去ニ付テハ之カ前提トシテ切實ニ支那國民ノ考慮ヲ促ササルヲ得ルモノアリ即チ右ノ如ク外國側ニ於テ支那國權制限撤去ニ對シ助力スルノ方針ニ出ツル以上支那側ニ於テモ其ノ排外的若ハ殊ニ領事裁判權ノ裁撤セラルル曉ハ支那内地ヲ世界ニ開放シ外國人ノ内地雜居ヲ承認スヘキコト當然ノ義ナリ之レ營ニ支那自身ノ利福ヲ齎ラス所以ナルノミナラス世界人類ノ均シク其ノ利益ニ浴スル所ニテ帝國ノ最モ緊切トスル人口問題乃至原料問題モ之ニヨリ自然幾分解決セラルル次第ナリ依テ帝國政府ハ前記國權制限撤去ニ關スル支那側主張ニ好意的考慮ヲ加フルヲ辭セサル代リニ支那自身ノ開放ヲ要求スルヲ必要ト認メ十二月八日帝國全權ニ對シ適當ノ時機ヲ以テ帝國ヨリ右支那開放問題ヲ提唱スヘキ旨訓令シ併セテ『極東總委員會第一回會議ニ於テ支那全權施肇基ハ支那ハ其ノ豐富ナル物資ヲ列國民ノ爲メニ開放スルト共ニ之カ報償トシテ列國民トノ自由均等ノ交際ノ利益ヲ享受セムコトヲ聲明シ居レル處前記ノ通り我方ノ支那開放ヲ提唱セムトスルハ單ニ物資ノミノ問題ニ非ス右ノ如ク國權制限ノ撤去ニ應シ普通文明國ニ於ケル如ク結局外人ノ内地雜居ノ自由ヲ認メシメムコトヲ包含ムモノナル』旨附說スル所アリタリ